

SANBE

TOMISAWA

UOZU

縄文の森

氷期の森

海底の森

時を超えた森のメッセージ

# 地底に眠る森のシンポジウム

地底に森が眠っています。

人が山野を切り開く前の原始の森。

森は、私たちに何を語ってくれるのでしょうか。

13:40-14:10

## ■報告1

### 縄文の森はどこへ消えたのか？

～石見銀山・たたら製鉄と島根の森～

中村唯史(三瓶小豆原埋没林公園・島根県大田市)

約4000年前に火山噴火で埋もれた三瓶小豆原埋没林は、スギの巨木が直立状態で地中に残り、縄文時代の壮大な森を物語る。そして、かつて存在した巨木の森は、人々が山林を利用する過程で姿を消した。

14:20-14:50

## ■報告2

### 魚津埋没林について

～発見と研究の歴史から成因をさぐる～

石須秀知(魚津埋没林博物館・富山県魚津市)

昭和初期に発見されてから現在まで、魚津埋没林の研究の歴史は科学の発達歴史ともいえる。研究が進むごとに書き換えられてきた魚津埋没林の成因や年代。最新の研究で、また新たな光が当てられようとしている。

15:00-15:30

## ■報告3

### 2万年前の世界がよみがえる 富沢遺跡

平塚幸人(地底の森ミュージアム・宮城県仙台市)

1988年、仙台市の富沢遺跡で2万年前の森の跡が生々しい姿で発見された。そして、この森の中には、旧石器時代の人々がキャンプをした跡も残っていた。この遺跡を現地で発掘したままの状態で保存公開している地底の森ミュージアム、そして明らかとなった2万年前のようすを紹介する。

15:40-16:40

## ■パネルディスカッション

### 地底の森のメッセージ

<コーディネーター>

原口 強(大阪市立大学准教授)

◆日時 平成30年12月1日 13:30-16:45

◆会場 大阪市立大学文化交流センター

大阪駅前第2ビル6階(大阪市北区梅田1-2-2-600)

◆定員 150名 (入場無料・要予約)

◆予約 電話または e-mail、はがきでお申し込み下さい。先着順。

※申込み先: 三瓶小豆原埋没林公園

住所: 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根口58-2

電話: 0854-86-9500 e-mail: azukihara@nature-sanbe.jp